



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

歯学部長 宮崎 隆

前半の猛暑から一転して、後半は雨の多い天候不順の夏でしたが、学生の夏期休暇が終了し、キャンパスがにぎやかになりました。学生たちはそれぞれ充実した夏季休暇を過ごしたと思います。



夏には恒例の学生の海外研修が行われ、今年は4学部から総計37名が5つのプログラムに参加し、無事に成果をあげて帰国しました。歯学部からはポートランド州立大学のプログラムに1年生が1名、ジェームズタウン・コミュニティカレッジのプログラムに3年生が1名、ペンシルバニア大学のプログラムに4年生が1名参加しました。ポートランドではホームステイを通じて、またジェームズタウン・コミュニティカレッジでは学生寮に色々な国からの留学生と一緒に滞在して交流を深めたようです。また、ペンシルバニア大学では基礎研究のラボで研究に従事してきました。台湾で開催されたアジアパシフィック歯科学学生協会 (APDSA) の会議には、本学の代表として5年生4名が参加しました。アジアにおける国際協力は重要ですので、引き続きAPDSAに下級生が参加できるようにしていきたいと思えます。

恒例の教育者のためのワークショップも開催されました。アドバンストのワークショップでは、大学共通のテーマならびに各学部の最重要で緊急性が高いテーマを取り上げて、次年度のカリキュラムに導入すべくプロダクトを作成しました。現在、各学部とも臨床実習の改善が課題になっています。医学部では4年生の後期から6年生の夏休み前まで臨床実習期間を大幅に増やすカリキュラムに移行しています。歯学部では技術習得のためのシミュレーション実習の時間を取らざるを得ないので、臨床実習の期間延長よりも内容の充実が課題です。本歯学部が進めてきた他学部や地域と連携したチーム医療教育では、実体験の場としての臨床実習の活用が必須です。そこで、今回のワークショップでは、チーム医療に参加できる歯科医師を養成するための臨床実習をテーマに議論しました。そして、医学部附属病院の活用と地域における訪問診療を組み込んだ「チーム歯科医療臨床実習」というユニットを提案することにしました。これらの臨

床実習の遂行には色々と困難なこともありますが、次年度から実施できるように担当部署だけでなく、歯学部関係者のご支援を宜しくお願い申し上げます。

富士吉田オープンキャンパスが開催されました

入学支援課 水庭 隆史

平成27年8月30日(日)富士吉田キャンパスにおいて受験生を対象とした富士吉田校舎オープンキャンパスが開催されました。このオープンキャンパスは、1年次の全寮制生活を実際に見て感じることができる機会ということで、全国各地から4学部併せて110組242名の方にご参加頂きました。全体説明会では、小出学長による挨拶、富士吉田教育部田中教授や在学生による富士吉田校舎での生活等に関する講演がなされました。実際の寮生活の様子を見ることができる寮見学や、入寮後に毎日食することになる食堂での昼食体験は大変多くの方で賑わいました。また他にも、模擬講義や教員・在学生との個別相談や施設見学が行われ、参加された方は、熱心に見たり聞いたりしていました。参加者のアンケートには、“キャンパスの雰囲気を知ることができてよかった”“昭和大学に入学したい気持ちが強くなった”とあり、オープンキャンパスを通じて、本学の富士吉田キャンパスをより理解していただけたと思います。雨予報で開催前は心配されましたが、参加者の熱意のおかげか、杞憂に終わり、大変有意義なオープンキャンパスとなりました。



認定医・専門医取得

広報委員長 中村 雅典

日本歯周病学会 専門医:

矢野亜希子(歯周病学講座兼任講師)

平成27年9月12日付

日本歯周病学会 認定医:

宮園あがさ(歯周病学講座兼任講師)

平成27年9月12日付

歯学部入試説明会が開催されました

入学支援課 水庭 隆史

9月19日(土)に歯学部入試説明会が旗の台キャンパスで開催され、71組108名と多くの受験生にご参加いただきました。本説明会では、歯学部入試常任委員による入学試験概要説明と、予備校講師による過去問題解説が行われました。入学試験概要説明では、今年度推薦入学試験での変更点を中心に、面接・小論文試験の内容、学費や奨学金など、受験生の気になる情報についての説明がなされました。続く予備校講師による問題解説では、英語・数学・理科3科目の学力試験科目を対象に、本学入試問題の傾向や解き方について、予備校講師ならではの視点から丁寧な解説がなされました。今年度から推薦入学試験の理科の選択科目が1科目から2科目に変更になることもあり、参加した受験生は熱心にメモを取りながら解説を聞いていました。入試常任委員による個別相談も行われ、参加者は説明を聞いて気になる点などを質問していたようでした。説明会を通して、受験勉強に対するモチベーションを高められ、充実した入試説明会となったのではないかと思います。



PBLシナリオ作成ワークショップに参加しました

口腔リハビリテーション医学部門 横山 薫

平成27年8月25日～26日に富士吉田校舎にてPBLファシリテーター養成・シナリオ作成ワークショップが開催されました。シナリオ作成



チームは2班に分かれ、これまでに実施した学部連携PBLのシナリオやファシリテーターガイドの見直しや学生評価方法の標準化に向けた検討を行いました。また、本年度から実施開始となった在宅チーム医療教育(4学部連携PBLチュートリアル)のシナリオの新規作成を行いました。

近年、「Evidence-based Medicine (EBM)」の実践が臨床現場でも浸透しつつありますが、さらに最近ではEBMの実践において「患者の語り Narrative (ナラティブ)」を重視する「Narrative-based Medicine (NBM)」という概念が注目を集めています。在宅チーム医療教育ではこのNBMの習得を目指した4学部連携PBL

チュートリアルを、初年次の6月と3月(新2年次)に実施します。新しい概念に基づいた指導を行うこととなるため、本PBLを担当するファシリテーターを養成するプログラムの検討が今後必要であると思われます。

PBLファシリテーター養成ワークショップに参加しました

歯科矯正学講座 芳賀 秀郷

平成27年8月25日～26日に富士吉田校舎にて第10回昭和大学PBLチュートリアルファシリテーター養成・シナリオ作成ワークショップが開催されました。ファシリテーター養成コースでは、まず昭和大学の教育の特徴やPBLについての基礎的知識を学び、従来の学生が講義を聞き知識を得る受け身の学習から学生主導で疑問点を抽出し自己学習する姿勢へと変化させる事が大きな目標であることを知りました。特に初年次学部横断PBLでは学生として、また医療人を志す学習者として必要な知識、技能、態度を習得する姿勢を学ぶという意味においても重要な位置づけがあります。次に10名弱の小グループに分かれPBLを実際に体験しました。「シナリオ」から自分たちが学びたい事・学ぶべき事を引き出していく中で自己主導型学習の面白さを知る反面、この学習過程を効果的に進めるためにファシリテーターが重要な役割を示すことを実感しました。2日目の午後には、小口理事長による理事長講話を拝聴し、医系総合大学ならではの利点を生かした教育の特徴を学びました。

学生の立場・ファシリテーターの役割を並行して学ぶ中で様々な議論やアドバイスを受け、充実した2日間となりました。今後この経験をPBLファシリテーターに生かしていきたいと思ひます。



ファシリテーター養成・シナリオ作成ワークショップに参加しました

口腔病理学部門 福島美和子

8月25日～26日に富士吉田キャンパスで開催された第10回昭和大学PBLチュートリアルファシリテーター養成・シナリオ作成ワークショップに参加致しました。全学部合同のワークショップで、医・歯・薬・保健医療学部、富士吉田教育部から50名の先生が参加されました。タスクの先生がたのめり確なご指示のもと、終始活発なムードで学ぶことが出来ました。心よ

り感謝申し上げます。今回はファシリテーター養成コースで、1年生を対象としたPBLの際にファシリテーターが担う役割を学びました。実際に学生さん達が使用するシナリオを用い、自分たちは学生役となり、司会者や書記、発表者を決めて調べ物や発表を行いました。熱いディスカッションと、ファシリテーターの的確な介入によって、ファシリテーターが学生に対しどのように議論を促し、会話を活発化させるかを学ぶことができました。懇親会では他学部の先生と交流する機会を頂き、貴重なお話を伺いました。この経験を今後ファシリテーターとして参加するPBLで生かしたいと思えます。

大学院秋季入試が実施されました

大学院運営委員会 井上 富雄

8月22日に大学院秋季入試が行われました。午前が語学試験、午後が専門科目試験です。9月19日に合格発表があり、一般選抜1名が合格しました。大学院の入学式は10月1日に16号館3階講義室で行われる予定です。春季I期入試の出願期間は10月26日(月)から11月20日(金)で、試験は12月5日(土)に実施されます。今年度から6年次学生も、春季I期入試で社会人特別選抜の出願が可能です。次回の大学院説明会は、11月25日(水)17:30から歯科病院1号棟6階第1臨床講堂で開催される予定です。多くの臨床研修医、学部学生のご参加をお待ちしています。

昭和大学大学院の2016年度のパンフレットができあがりしました。分かりやすくカラフルにまとまっております。大学院歯学研究科のホームページの“大学院デジタルパンフレット”からもご覧になれます(<http://www.showa-u.ac.jp/grad/>)。

アジア太平洋歯科学会学生の会議に参加しました

歯学部5年 金箱 志桜都



8月10日から8月15日の間、台湾の台北で行われたアジア太平洋歯科学会(APDSA)の会議に参加しました。私はオープニングセレモニーに始まり、基調講演の聴講、法歯学のワークショップ、観光ツアー、そしてクロージングセミナーのカルチャーナイトま

で参加させて頂きました。講演や友人との交流を通して多くの学びを得るとともに、100人近くのアジアの歯学生の友人ができました。私が今回参加して、一番驚いたことは各国によって教育システムが違うということでした。そして、このことが他のアジア人と一番話し合った内容でした。また夜のフリータイムの時間ではお酒を飲みながら様々な国の学生と会話し、ゲームをしたりして楽しみました。インターネットでグローバル化している今日、若者の文化はとても似ている部分が多く、face bookでの交流、来日した時の再会を約束しました。このAPDSAには歯学生なら誰でも参加できます。英語は話せるほうが好いですが、英語が苦手でも十分楽しむことができるプログラムとなっていました。様々な国の英語が飛び交うのも面白かったです。今回、私にこのような機会を作ってくれた先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。

ジェームズタウンコミュニティ大学の英語研修プログラムに参加しました

歯学部3年 三橋 あい子

私は7月20日から約3週間、アメリカ・ニューヨーク州にあるJCC (Jamestown Community College)の語学研修に参加してきました。参加者は日本人、チュニジア人、スペイン人、そしてメキシコ人の総勢22名。国も文化も宗教も異なるメンバーでとても楽しい時間を過ごしました。研修期間中には様々な場所を訪れ、ナイアガラの滝ではアメリカの大自然を肌で感じ、歯科医院見学では、診療室がすべて個室で、各部屋に充実した設備が揃っていることに驚かされました。



クラスメイトは、母国では英語の先生であったり、大学の教授であったり、私とは異なる分野を学ぶ学生であったりと、多彩なバックグラウンドを持つ彼らとの会話は、いつでも新しい発見の連続で、とても楽しいものでした。また、同年代であっても、当たり前のように3・4か国語を話せ、学習意欲旺盛な彼らに大きな刺激を受けました。この3週間は、ただ漫然と日本で過ごすだけでは思いもつかないことを考える良い機会であり、間違いなく人生で最良の日々の一つであったと確信できます。何よりも、仲間に恵まれ、帰国後も連絡を取り合える友人に巡り合えたことに感謝しています。

行事予定

広報委員長 中村 雅典

- ・10月17日(土):父兄会秋季部会
- ・10月20日(火):解剖慰霊祭
- ・10月27日(火):歯科医師臨床研修マッチング発表

第47回全日本歯科学生総合体育大会が開催されました

歯学部学生部長 上條竜太郎

全日本歯科学生総合体育大会(オールデンタル)は日本の全ての歯学部が参加する歯学生のスポーツの祭典です。大半の競技は夏季に行われますが、ラグビー・フットボール、スキー、アメリカンフットボールは冬季開催となり、夏の大会に先駆けて行われます。現在の夏季開催種目数は23で、規約に従って、各競技部門ごとに優勝校から順に得点を与え、夏季・冬期の合計得点の多寡で総合優勝校を決定します。今年度のオールデンタルは通算で第47回となり、奥羽大学の事務主管のもとで開催されました。総合優勝は日本大学松戸歯学部で、総合閉会式で優勝旗・優勝杯(ともに持ち回り)をもって表彰されました。

本学歯学部からは196名が13部門に参加し、総合成績第10位と健闘致しました。本学学生がオールデンタルを通じて心身の健全な発達を獲得し、自己責任、克己心やフェアプレーの精神を培うとともに、仲間や指導者との交流を通じて、豊かな心と他人に対する思いやりの心を育むことを期待します。



オールデンタルで男子優勝・総合で2位になりました

歯学部4年 吉久 雄葵



第47回オールデンタルバドミントン部門は、8月3日から8月7日にかけて錦糸町の墨田区総合体育館で行われました。参加全24校中、男子団体戦では優勝しました。個人戦でもそれぞれが健闘し、男女総合準優勝という成績を収めることができました。

今年のMDバドミントン部は春から怪我人が続出するというアクシデントに見舞われました。しかし、オールデンタル前の夏合宿では、空調をつけることができない暑い体育館でそれぞれが課題を持って練習に取り組み、克服するために頑張り、部員同士がお互いにアドバイスしあい、大会に向けてモチベーションを

高めてきました。そして、大会では2年生6名、3年生5名、4年生6名、5年生5名、6年生3名全員が誰一人として諦めることなく最後まで全力でプレーすることでこのような素晴らしい結果を残すことができました。

また、お忙しい中多くのOB、OGの皆さまや医学部の部員が応援に駆けつけてくださりました。素晴らしい仲間とこのような感動を共有でき、最高の夏を過ごすことができたのは、ひとえに、諸先生方、OB、OGならびに関係者の皆さまのおかげと感じております。応援有難うございました。これからもご支援、ご声援のほどよろしく願いいたします。

オールデンタルで総合2位になりました

歯学部3年 寺内 晴香

歯学部卓球部は8月4日～6日に北海道で行われた第47回全日本歯学部生総合体育大会卓球部門において総合2位となりました。試合結果は団体戦では、予選リーグで男子・女子共に1位通過し、決勝トーナメントに進みました。男子は鶴見大学に敗北し準々決勝敗退となり、結果はベスト8、女子は決勝まで進みましたが、愛知学院大学に敗北し、結果は準優勝となりました。個人戦では、男子ダブルスは中田・後藤ペア(歯3・歯3)がベスト16、女子ダブルスは林・岸波ペア(歯5・歯4)がベスト16、石橋・田上ペア(歯5・歯2)、寺内・山口ペア(歯3・歯3)がベスト8、男子シングルスは中田がベスト16、女子シングルスは石橋、寺内がベスト8、田上が優勝、初心者のみが参加する男子新人戦では酒井(歯2)がベスト4でした。今年度は昨年度の結果よりも良い結果を残すことができましたが、あと一歩足りず惜しくも敗退してしまった試合が多くありました。来年度のオールデンタルはこの悔しさをバネに、今回以上の成績を残せるよう卓球部一同、日々の練習を大切に、総合優勝を目指していきたいと思っておりますので応援よろしく願いします。



編集後記

歯周病学講座 滝口 尚

夏の猛暑はいつのことやらと、虫の音もようやく繁くなり、「中秋の名月」を眺めながら、秋の深まりを感じております。ご寄稿下さいました皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。